

令和5年度 事業報告書

自 令和 5年4月 1日

至 令和 6年3月31日

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

令和5年度 事業報告書

【概要】

令和5年度はコロナウイルス感染症が第2類から第5類になり、地域での活動も再開されてきましたが、引き続きコロナ禍の影響が残っている状況でありました。本会は地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進し、市民の皆さまの協力や行政・関係機関等との連携により、計画に定めた事業について、ほぼ計画どおり実施することができました。特に、本年度は第3次地域福祉活動計画の最終年度にあたり、4年間の成果や課題を評価し、次期計画に向けた基盤づくりを行う1年となりました。

事業計画に定めた3つの基本目標ごとに事業の成果について概要を説明します。

まず、「基本目標1 福祉の心を育てよう」では、11月4日に福祉大会を開催し、市民や福祉関係者多数の参加があり、記念講演や地域福祉活動実践者の発表などにより地域福祉への関心を高めることができました。また、市民の皆さまにとって分かりやすく必要な情報を提供するよう努め、社協だより、Facebook、マスコミへの情報発信等に加え、新たに社協のPRパンフレットを作成し、本会の情報を市民に広く広報するなど、福祉意識の啓発や本会への理解促進に努めました。

福祉教育の推進では、小学生へのちょボラ運動や出前福祉教室のほか、中高生を対象とした夏のボランティア体験における災害時の状況等を知り防災への関心を高める体験活動などにより、様々な年代の参加者が福祉の視点に気づき、福祉活動への関心を高められるよう取り組みました。

災害ボランティアの推進では、岡山県と新見市が合同で行った防災訓練に併せて地震災害を想定した災害ボランティアセンターの設置訓練を行ったほか、3月には新見ライオンズクラブ・新見ロータリークラブと災害時ネットワーク協定を締結し、災害時の被災者支援体制の充実を図りました。

次に「基本目標2 ともに支えあおう」では、各サロンと密接に連絡を取りながらサロン活動の継続を促すとともに、サロン研修会の開催、ふれあいサロンガイドブックの作成等を行い、居場所や交流の場づくり、見守り支え合う地域づくりを推進してまいりました。また、サロン立ち上げの支援を行い、4か所で新規のサロンが立ち上がりました。

また、福祉連絡会も各地区で開催することができ、福祉委員への役割周知や民生委員・児童委員等との連携強化を促進するとともに、見守り活動や孤立防止の重要性などについて啓発を行い、福祉委員活動の支援に努めました。

地域での支え合いの推進では、地区社協の活動や友愛訪問などが、関係者の様々な工夫により実施され、高齢者の不安感の軽減や住民同士の交流の機会の充実など地域福祉の推進を図りました。

また、地域の福祉課題の把握やその解決に向けて協議する場である小地域ケア会議は、今年度26地区で実施することができ、地域の見守り・支え合い活動等の創出、各種研修会の開催支援のほか、地域福祉活動の基盤となる地域運営組織設立の支援等を行い、3地区において新組織が設立されました。

地域活動の担い手養成を目的とする無理しない地域づくり講座は8名の受講があり、参加者それぞれが地域活動など、やってみたいことを具体化したマイプランを作成し、修了者が無理なく活動できるよう継続的に支援を行いました。

次に「基本目標3 福祉環境の充実を図ろう」では、権利擁護の中核機関となる新見市成年後見相談センターにおいて、成年後見制度の普及啓発、利用促進や後見人支援などの機能の充実を努めるとともに、家庭裁判所や行政など関係機関との連携強化に努めました。特に、権利擁護推進セミナーや市民後見人フォローアップ研修における市民後見人の活動発表などにより、成年後見制度の普及や市民後見人の育成支援の強化に努めました。こうしたことから市内の市民後見人登録者は11人に増え、5名が後見人として実際に活動されるなど、着実に市民後見人の充実につながっています。また、法人後見事業においても、適正な後見業務に努めるとともに、市民後見人との複数受任や法人後見支援員の充実により、権利擁護の体制強化も図ることができました。

年2回開催の「なんでも相談会」も定着し、それぞれの相談件数が25件、32件と、毎回20件以上の相談が寄せられています。また、相続に関する研修会にも多くの参加者があり、相続問題への関心の深さがうかがえました。

新見市生活相談支援センターでは、フードドライブ事業を通年実施し、多くの方から食料等の寄付を受け、生活に困窮している世帯への支援や大学生等への配布を行うとともに、12月には、寄付された

食料等を使って食事の提供と居場所の確保としてびおーらキッチン（地域食堂）を開催し、多くの参加者があり、生活に不安を抱える人の支援や地域との交流の機会を確保しました。

ピオーラカフェ（認知症カフェ）は3年目を迎え、専門職による講話や大学生による企画コーナーなど、参加者が気軽に交流でき、認知症について理解することができる場となり順調に実施することができました。

また、社会福祉法人連絡協議会では、フードドライブ事業などの食の支援に継続して取り組むとともに、新たに災害時の緊急連絡体制の図上訓練を実施し、社会福祉法人同士の日頃の連携体制づくりに努めました。

3つの基本目標に加え本会が実施している介護サービス事業については、依然厳しい経営状況にありますが、新型コロナなどの感染予防を徹底しながら、より一層、利用者の立場に立った安全で質の高いサービスの提供に努めてまいりました。

また、法人運営では、総合経営企画室が中心となって、介護保険事業所経営会議を実施し、各事業所の現状・課題の把握、今後の方向性等について検討するとともに、不足する介護人材の確保や安定経営に向けて、関係機関への要望や広報の強化に努めました。

さらに、社協の経営理念や職員の行動指針などを掲げた、第1次総合経営計画を策定し、社協のビジョンの明確化や組織体制強化の基盤づくりを図りました。

各事業の実施状況については次のとおりです。

法人運営事業

【理事会】

	開催期日	出席者数	主な議案
1回	令和5年6月7日	理事8人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告・決算 ・資金収支補正予算（第1号） ・新見市地域福祉センター設置規程の一部改正 ・役員選任候補者の推薦 ・評議員候補者の推薦、評議員選任・解任委員会開催 ・評議員選任・解任委員会の委員の選任 ・苦情解決第三者委員の選任 ・定時評議員会の開催 ・（報告）会長・常務理事職務執行状況 ・（報告）介護職員処遇改善計画
2回	令和5年6月23日	理事7人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長及び常務理事の選定
3回	令和5年9月19日	理事6人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員及び臨時職員等就業規程の一部改正 ・生活支援員等就業規程の一部改正
4回	令和5年12月14日	理事8人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・（報告）会長・常務理事職務執行状況
5回	令和6年2月27日	理事9人 監事1人	<ul style="list-style-type: none"> ・（報告）介護職員処遇改善計画（追加） ・（報告）日常生活自立支援事業実施状況調査の結果
6回	令和6年3月21日	理事7人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第2号） ・経理規程の一部改正 ・評議員会に諮る役員等報酬規程の一部改正案 ・職員就業規程の一部改正 ・嘱託職員及び臨時職員等就業規程の一部改正 ・登録ホームヘルパー就業規程の一部改正 ・生活支援員等就業規程の一部改正 ・派遣職員就業規程の制定 ・事務局長の選任

			<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画・予算 ・評議員会の開催 ・（報告）第4次新見市地域福祉活動計画の策定 ・（報告）第1次総合経営計画策定の策定
--	--	--	--

【 評議員会 】

	開催期日	出席者数 (評議員)	主 な 議 案
1回	令和5年6月23日	17人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告・決算 ・資金収支補正予算（第1号） ・役員の選任
2回	令和6年3月28日	18人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第2号） ・令和6年度事業計画・予算 ・役員等報酬規程の一部改正 ・（報告）第4次新見市地域福祉活動計画の策定 ・（報告）第1次総合経営計画の策定

【 各種委員会 】

評議員選任・解任委員会		設 置 平成29年3月29日
委員構成 (5人)	◇外部委員5人	
内 容	評議員の選任・解任を行う。	
開催状況	期 日：令和5年6月13日 5人出席 協議内容：委嘱状の交付、評議員（1人）の選任について	

苦情解決第三者委員会		設 置 平成17年10月1日
委員構成 (2人)	◇人権擁護委員2人	
内 容	福祉サービス利用者等から苦情申し立てがあった場合に解決のための審議を行う。	
開催状況	期 日：令和5年9月7日 2人出席 協議内容：苦情解決第三者委員の役割について 社協の取組状況と苦情解決の現状等について	

地域福祉活動基金運営委員会		設 置 平成17年4月1日
委員構成 (6人)	◇社協理事5人 ◇行政関係者1人	
内 容	地域福祉活動基金の管理運営及び基金による事業の実施についての審議を行う。	
開催状況	期 日：令和5年12月14日 5人出席 協議内容：基金の運用状況について 今後の基金の運用について 基金利息の活用について	

地域福祉活動計画策定委員会		設 置 令和5年7月1日
委員構成 (17人)	◇関係団体代表者、行政関係機関等代表者、学識経験者	
内 容	◇地域福祉活動計画の策定についての審議を行う。	
開催状況	◇策定委員会：4回実施 ※新見市地域福祉計画ほか行政計画と合同実施。 内容：第4次新見市地域福祉活動計画における意見聴取 ◇アンケートの実施：福祉委員活動アンケート、中高生アンケートほか ◇ワークショップの実施（地区社協情報交換会で実施） 11月29日 まなび広場小ホール 40人参加 ◇推進チーム会議：7月～12月（8回実施） ◇作業チーム会議：3次計画の評価と4次計画（案）の作成	

事業評価委員会	設 置 平成23年12月22日
委員構成 (6人)	◇社協理事2人 ◇社協評議員2人 ◇社協監事1人 ◇行政関係者1人
内 容	地域福祉活動計画に掲げた事業の進捗状況を把握し、評価を行う。
開催状況	期 日：令和5年11月14日 6人出席 協議内容：第3次新見市地域福祉活動計画事業評価について

【 総合経営企画室 】

総合経営計画の策定	
策定委員等	局長、次長、課長、参事、支所長、総務課係長、地域福祉推進課係長
内 容	◇第1次総合経営計画の策定
開催状況	◇策定委員会兼プロジェクトチーム (10人) 令和5年6月7日～令和6年3月13日 毎月開催 全13回実施 ◇理事会等における計画協議 令和5年6月7日～令和6年3月21日 理事会で意見聴取、計画案協議等 令和6年3月28日 評議員会で報告 ◇研修会・ワークショップ 令和5年9月22日・27日・28日 全3回 53人延べ67人参加 ◇職員アンケート 回答者数45人 ◇その他の会議等 令和5年6月27日 赤磐市社協業務視察 2人参加 令和5年7月4日～10月17日 市町村社協基盤強化セミナー 延べ7人参加

介護保険事業所経営会議	
管理職員等	局長、次長、参事、総務課係長、事業所管理者
内 容	介護保険事業所の安定経営と介護サービスの充実等について検討する。
開催状況	◇通所介護事業所経営会議 第1回：令和5年6月16日 6人出席 協議内容：昨年度の通所会議の振り返り、事業所の現状課題、今後の取組等について 第2回：令和5年7月13日 6人出席 協議内容：通所事業所の財政状況や前回会議の再確認と、今後の取組案について ◇市内居宅介護支援事業所訪問ヒアリング (本会居宅事業所のサービス提供状況について) 期 日：令和5年7月19日～24日 延べ11人訪問 社協2事業所、市内6事業所 (地域包括支援センターほか) ◇訪問介護事業所経営会議 期 日：令和5年12月21日 5人出席 協議内容：サテライト事業所化による現状課題、今後の取組等について ・介護人材確保、買い物等の社会資源の課題、事業所加算取得に向けた検討 ◇介護事業所等情報交換会 (井原市社協訪問介護・通所介護事業所より来所) 期 日：令和6年2月8日 井原市社協4人、新見市社協4人出席

【 危機管理体制の整備等 】

災害ボランティアセンター設置訓練	
参加職員	会長、局長、次長、課長、係長、地域福祉推進課職員
内 容	地震災害を想定した新見市防災訓練に参加し災害ボランティアセンターの設置訓練を実施
開催状況	令和5年11月19日 新見南中グラウンド ボランティア8人、役職員14人、市福祉課2人、県社協2人 計26人参加 講師：日野ボランティア・ネットワーク山下代表、新見市防災士会2人 ※詳細は別途記載

災害ネットワーク協定締結	
参加職員	会長、局長、課長、総務課係長、災害ボランティア推進事業担当職員
内 容	災害ボランティアセンター設置の際の相互協力について定めた協定を締結する。
開催状況	令和6年3月11日 災害ネットワーク協定締結式 新見市地域福祉センター 新見ライオンズクラブとの協定締結 5人出席 新見ロータリークラブとの協定締結 3人出席

【 寄付金 】

内 訳	令和5年度		令和4年度	
	件数 (件)	寄付額 (円)	件数 (件)	寄付額 (円)
香典返し・偲び草	162	3,355,000	162	3,165,000
退院内祝い	0	0	4	60,000
一般寄付・その他	14	608,706	20	873,159
合 計	176	3,963,706	186	4,098,159

【基金運営事業】

◇令和5年度 地域福祉活動基金の状況

種類	金額(千円)	利率	年間利息(円)	期間
第51回利付国債	100,000千円	0.300%	300,000円	30年
第171回利付国債	50,000千円	0.300%	150,000円	20年
定期預金	50,000千円	0.01%	5,013円	1年
合 計	200,000千円		455,013円	

◇基金利息の運用：心配ごと相談事業、福祉委員等ボランティア活動保険料、友愛訪問事業に充当

【 役職員研修 】

開催状況	内 容	参加者
職員研修 令和5年6月1日	職場におけるハラスメント防止研修	管理職員 10人
職員研修 令和5年9月22日 ほか2回	「社協の使命及び役割、総合経営計画の意義等について」 講師：矢田貝常務理事兼事務局長	職員 延べ67人
役員研修 令和5年12月14日	「社協の使命及び役割、総合経営計画の意義等について」 講師：矢田貝常務理事兼事務局長	理事・監事 8人
職員研修 令和6年2月15日	新見市社会福祉法人連絡協議会研修会を聴講 講師：川崎医療福祉大学 講師 小川 知晶 氏	17人

【 健康経営に関すること 】

開催状況	内 容	参加者等
令和5年8月18日	健康に関する勉強会「健康診断結果の見方」 講師：太田病院院長 太田 徹 氏	40人
令和5年10月	新入職員、パート職員、登録ホームヘルパーを対象に ストレスチェックを実施	20人

【 新見市地域福祉センター貸館事業 】

内 訳	令和5年度	令和4年度
利用件数	179件	204件
利用料合計	382,430円	482,240円

【 福祉用具貸出事業 】

内 訳	令和5年度	令和4年度
車いす貸出件数	44件	35件
電動ベッド貸出件数	1	4件

地 域 福 祉 事 業

1. 福祉の心を育てよう

事業名	福祉大会	事業区分	自主事業
事業概要	市民の福祉意識の醸成や地域福祉活動の普及を目的として、地域住民による助け合い・支え合い活動の発表や記念講演などによる大会を定期的を開催する。		
取組内容	11月4日 まなび広場にいみ大ホール 200人参加 ◇支えあい活動の取組発表 ・大田地区ふるさと振興協議会「給食サービス」 ・上市地区社会福祉協議会「お話訪問活動」 ◇記念講演 ・講師 (株)フジャアーノ岡山スポーツクラブ 代表取締役社長 北川 真也 氏 「子どもたちに夢を！～100年後の岡山へつなぐバトン～」 ◇展示企画：社協事業展示（会場ロビー、後日地域福祉センターロビーに掲示）		

事業名	福祉情報発信	事業区分	自主事業
事業概要	福祉意識の醸成や本会の活動を広く知ってもらうことを目的として、広報紙やSNS等効果的な媒体により、本会の活動や地域福祉活動の実践例について情報発信を行う。		
取組内容	◇公式 Facebook での情報発信 随時 ◇社協だよりの作成・発送 年6回（奇数月） ◇ホームページでの情報発信 随時 ◇法人パンフレットの作成		

事業名	社協会員の加入促進	事業区分	自主事業		
事業概要	地域福祉の活動の充実や、その周知により社協会員の加入促進を図る。				
取組内容	社協会員の募集				
	◇地域住民、団体等が会員となり、福祉意識の向上と住民主体の活動推進を図ることを目的とする。				
		令和5年度		令和4年度	
	会員の種類	会員数	納入額（円）	会員数	納入額（円）
	普通会員	7,452	7,140,000	7,632	7,297,500
	賛助会員	48	144,000	49	147,000
特別会員	219	1,205,000	216	1,180,000	
計	7,719	8,489,000	7,897	8,624,500	

◇普通会员の加入状況		
	令和5年度	令和4年度
依頼世帯	9,086世帯	9,331世帯
加入世帯	7,452世帯	7,632世帯
加入率	82.0%	81.8%

事業名	赤い羽根共同募金運動	事業区分	自主事業
事業概要	様々な募金活動の展開により、地域福祉活動を財政面で積極的に支えていく役割を果たすとともに、住民参加による自主活動を促進し、福祉に参加する意識を育む。		
取組内容	◇共同募金委員会：赤い羽根共同募金（10/1～12/31）		
	募金方法	募金額	募金ボランティア数等
	戸別募金	4,269,800円	7,682件
	街頭募金	30,908円	25人
	大口募金	990,000円	438人
	学校募金	31,910円	7校
	職域募金	668,150円	144件
	イベント募金	121,631円	4ヶ所
	店頭募金	146,853円	54ヶ所
	自動販売機募金	36,486円	4ヶ所
	その他の募金	18,111円	
	預金利息	15円	
	合計	6,313,864円	
		目標額	4,900,000円
	実績額	6,313,864円	
	達成率	128.8%	
	◇広報・啓発		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民生委員児童委員協議会、福祉連絡会等様々な場で共同募金の趣旨説明や協力依頼 ・社協だより、SNS等を活用した配分金事業や募金活動の周知 		

事業名	歳末たすけあい募金運動	事業区分	自主事業
事業概要	福祉に参加する意識を育むとともに、一人暮らし高齢者等への歳末訪問事業を実施するため、歳末たすけあい募金運動を実施する。		
取組内容	◇共同募金委員会：歳末たすけあい募金（12/1～12/31）		
	募金方法	募金額	募金ボランティア数
	戸別募金	4,203,850円	7,449人
	その他の募金	27,946円	3人
	預金利息	3円	
	合計	4,231,799円	7,452人

業名	歳末たすけあい訪問事業	事業区分	自主事業
事業概要	一人暮らし高齢者等があたたかい歳末と明るいお正月を迎えられるよう、歳末たすけあい募金を活用して友愛訪問活動を実施する。		
取組内容	◇歳末たすけあい訪問 ・民生委員の協力を得て、下記対象者へ1世帯あたり3,000円の訪問金を配布 ①満80歳以上の高齢者のみの世帯 1,273世帯 ②重度心身障がい者（市県民税非課税） 19世帯 ③準要保護児童・生徒のいる世帯 38世帯 合計 1,330世帯 配分金額合計 3,990,000円 ◇学校等への訪問（図書カード配布） 認定こども園、保育所、小中学校等 合計 36校・園 2,265人 配分金額合計 295,000円		

事業名	小学生向け福祉教育(ちょボラ)	事業区分	自主事業
事業概要	小学生に対して、福祉に関する学習と体験の機会を提供し、学童期からの福祉意識の醸成を図る。		
取組内容	◇小学生ちょボラ実践：10～12月の間の2週間 ・ちょボラノートによる活動実施（全15校参加、取組児童398名） ◇活動報告書（ちょボラだより）の作成・配布		

事業名	夏のボランティア体験（※第27回）	事業区分	自主事業
事業概要	中高生を対象にボランティア活動の機会を提供し、研修会で福祉に関する学びの場を設けボランティア意識の醸成を図る。		
取組内容	7月9日 新見市地域福祉センター 多目的ルーム 市内中学生28名参加 ◇研修：ボランティアの意義と新見市災害ボランティアセンターの活動について 講話「災害時の実際と行動について～未来を変える！防災マップとマイタイムラインの活用術～」講師 災害支援ネットワーク NPO かけはし 大森 功資氏 ◇ワークショップ（体験学習） ・身近なもので防災グッズを作ろう ・避難所で使う備品に触れてみよう ◇事後課題（任意）7人参加 ・防災新聞を作成し、学びを深めるとともに、社協や学校、公民館、福祉大会など地域内で掲示し、防災意識の向上に役立てる活動を行う ◇活動報告書（夏ボラ新聞）の作成・配布		

事業名	出前福祉教室	事業区分	自主事業
事業概要	学校や職場、地域に出向き、福祉に関する講座や体験を通して地域住民の福祉意識の醸成を図る。		
取組内容	◇出前福祉教室：地域のニーズに応じた講座を実施 ・高齢者疑似体験、車いす体験、共同募金、権利擁護、認知症理解等 実施件数 6件 ・7/4 矢神小学校：車いすユーザーとの車いす体験 ・7/11 思誠小学校：車いすユーザーとの車いす体験 ・7/28 ワークセンター阿新保護者会：権利擁護について ・10/3 新見南小学校：高齢者疑似体験 ・10/23 西方小学校：車いすユーザーとの車いす体験 ・2/17 上市地区社会福祉協議会：成年後見制度について ◇その他の講師派遣、受入 ・10/17 新見第一中学校：ふるさとキャリア教育における校外学習受け入れ ・9/8 思誠小学校：視覚障がいのある方との交流（当事者紹介） ・9/26 新見公立大学主催「地域防災演習」への講師派遣		

事業名	災害ボランティア推進事業	事業区分	自主事業
事業概要	災害ボランティアの養成、登録を推進し、災害時に迅速に活動できる体制を整備する。		
取組内容	<p>◇災害ボランティア養成講座 6月18日 参加者：45人 ※新見市防災士の会との共催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアや災害ボランティアセンターについての基本的な知識を学ぶ ・講話：災害時に備える、役立つ金融知識 ～リスクを知れば運命が変わる！～ 講師：ファイナンシャルプランナー 佐藤香名氏 ・講話：防災に役立つ豆知識 ～いざという時「助けて！」と言い合える地域づくりを～ 講師：新見市防災士の会 事務局 杉本美智子氏 ・災害ボランティア登録の説明 <p>◇ボランティア登録数 78人</p> <p>◇新見青年会議所 7月例会行事「災害に備えて考える」への職員派遣 7月20日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演：災害ボランティアの基本知識とボランティアセンターの役割について ・ディスカッション：「災害での課題」「青年会議所に求められること」「災害時にどのような行動をとるか」 <p>◇新見公立大学 健康科学部共通教養科目「地域防災演習」への職員派遣 9月26日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話：災害ボランティア活動とボランティアセンターの機能説明 ・演習：災害ボランティア活動のロールプレイ など <p>◇県総合防災訓練に合わせた災害ボランティアセンター設置訓練 11月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話：地震災害時の支援、ボランティア活動について 講師：日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下弘彦氏 ・説明：土のう袋の使い方、土の詰め方など 講師：新見市防災士の会 小林晃副会長、林司朗副会長 ・災害ボランティアセンター設置訓練（ボランティア受入訓練、ニーズ受付訓練） 		

事業名	傾聴ボランティア推進事業	事業区分	自主事業
事業概要	一人暮らし高齢者等を月1回程度訪問し、話し相手になることで孤独感や不安の軽減を図る。		
取組内容	<p>◇傾聴ボランティア訪問 4件 延べ33回訪問</p> <p>◇傾聴ボランティアステップアップ研修会（13人出席） 講師：新見公立大学健康科学部地域福祉学科准教授 小松尾京子氏</p>		

事業名	手話講座	事業区分	市受託事業
事業概要	手話を学ぶ機会を提供し、聴覚障害者への理解を深める。		
取組内容	<p>◇手話奉仕員養成講座（入門課程） 実施回数 18回(36講座) 受講者数・修了者数 受講者数16人、修了者数11人</p>		

2. とともに支えあおう

事業名	ふれあいいいきサロン	事業区分	市受託事業
事業概要	介護予防、地域での交流・仲間づくりの促進を目的として、身近な地域で誰もが参加しやすい集いの場づくりを行う		
取組内容	<p>◇各地区でサロン実施（66サロン、延べ559回開催、延べ5,826人参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別サロン数（新見45、大佐6、神郷6、哲多6、哲西3） （うち新規サロン4、コロナウイルス感染防止による未実施サロン2） <p>◇サロン・集いの場交流会 9月19日 まなび広場にいみ小ホール 44人参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「すすめよう！つながりを切らない地域づくり～つながることの意味と意義について～」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保氏 <p>◇げんき広場インストラクター派遣（35サロンに派遣）</p>		

	◇活動拠点整備費事業（備品整備2サロン） ◇活動・立上げ推進（お試しサロン2サロン） ◇レクリエーション備品の貸出（69回） ◇ふれあいサロンガイドブック作成 活動紹介・状況把握のためのアンケートを実施し、ガイドブックに掲載
--	--

事業名	ひだまりサロン	事業区分	自主事業
事業概要	障害者(児)とその家族などの当事者同士の交流や孤立感・不安感の解消を目的とした集いの場づくりを行う。		
取組内容	◇ひだまりサロン実施（活動サロン2サロン、開催回数延べ16回、参加者延べ136人）		

事業名	子育て支援事業	事業区分	自主事業
事業概要	地区社協・にいみ子育てカレッジと連携・協働し、子育て支援のネットワークづくりを行う。		
取組内容	◇子育てカレッジ事務局会議・運営協議会等に参加（19回）		

事業名	福祉委員設置活動支援	事業区分	自主事業
事業概要	地域のアンテナ役である福祉委員の設置推進を図り、民生委員・児童委員等と連携した地区内の見守り活動や地区社会福祉協議会等の活動を推進する。		
取組内容	◇福祉委員の設置（委嘱状交付） 744地区836人に委嘱 ◇福祉連絡会（全地区対象） 第1回：福祉委員の役割説明 37地区34会場 参加者450人 第2回：地域課題について等 26地区26会場 参加者296人 第3回：地域課題について、今年度のまとめ等 1地区1会場 参加者103人		

事業名	独居高齢者宅戸別訪問事業	事業区分	市受託事業
事業概要	独居高齢者の安否確認と見守り活動を進め、孤立感の解消を図る。		
取組内容	◇80歳以上独居高齢者世帯訪問 支所別実績(月平均) 本所339人、大佐29人、神郷41人、哲多45人、哲西30人 延べ5,870件		

事業名	友愛訪問事業	事業区分	自主事業
事業概要	見守り支え合う地域づくりの推進を目的とした訪問活動を実施する。		
取組内容	◇年3回各地区で友愛訪問事業を実施 ・対象：75歳以上ひとり暮らし高齢者世帯・80歳以上高齢者のみの世帯 ・新見地区 延べ3,917回、大佐地区 延べ504回、神郷地区 延べ415回、 哲多地区 延べ480回、哲西地区 延べ501回 計5,817回 ◇友愛訪問事業説明会：8月8日 参加者50人		

事業名	地域ささえあい推進事業	事業区分	市受託事業
事業概要	各地域で住民と生活支援コーディネーター等の専門職とが一緒になって地域課題について協議する小地域ケア会議を推進し、地域に必要な支え合い活動の創出支援を行う。		
取組内容	◇既存の地域資源の把握・整理 ・既存の地域資源の調査・取材2カ所 ・「にいみ暮らしを支えるサービス一覧表」更新、聞き取り調査 ◇地域課題の把握・協議 ・各地区福祉連絡会、小地域ケア会議において課題把握及び協議 ・福祉委員活動アンケート・中高生向けアンケート等		

	<ul style="list-style-type: none"> ◇サロン・集いの場の把握・広報 <ul style="list-style-type: none"> ・サロン・集いの場への参加（集いの場の把握）68回 ・ふれあいサロン集いの場ガイドブックの作成 ◇支え合い活動の見える化と取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・上市地区「お話訪問活動」、哲多町大田地区「給食サービス」の取材、映像化 ・福祉大会において上記2地区による取組発表を実施 ◇小地域ケア会議の開催・設置推進 全42地区中26地区設置 46回 ◇支え合い活動の基盤となる組織づくりの立ち上げ支援 <ul style="list-style-type: none"> ・地域運営組織設立地区への支援（布瀬地区、高瀬地区、宮河内地区） ・地域運営組織設立準備地区への支援（西方地区、石蟹地区、畑木地区） ◇関係者間のネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協情報交換会（11/29 40人参加） ◇地域共生社会の構築に向けた推進方法の協議、情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会コアメンバー会議 6回 ◇各地域共生社会推進チームとの情報交換、情報共有 ◇生活支援ニーズとサービスのマッチング（地域の福祉課題に基づく活動創出支援） <ul style="list-style-type: none"> ・新規サロン立上げ支援（集いの場の推進）6件 ◇介護予防につながる集いの場の創出に向けた研究 <ul style="list-style-type: none"> ・サロン・集いの場交流会（9/19 44人参加） ◇高齢者等の自立支援、重度化予防を目指した支援の検討、提案 <ul style="list-style-type: none"> ・新見市地域ケア個別会議への参画 10回 ◇様々なサービス提供主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・小地域ケア会議職員研修会（8/22 63人参加） ◇認知症キャラバンメイトやサポーターとの協働による共生社会の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ピオーラカフェ（認知症カフェ）の企画・実施 6回 ◇岡山県介護支援専門員協会新見支部との情報交換 1回 ◇地区社協等の活動推進に向けた各地区の進捗状況の共有 8回 ◇生活支援サービスの担い手の養成及び活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・にいみ版無理しない地域づくり講座 '23（3回講座）受講生：9人 講師：（有）エコカレッジ代表 尾野 寛明 氏 ◇第1層協議体の企画・運営支援 第1層協議体打合せ 7回 ◇第2層生活支援コーディネーターの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新任第2層生活支援コーディネーター訪問研修 2地区 ・生活支援コーディネーター情報交換会（9/7 15人） 講師 淡路市社会福祉協議会 事務局次長 岩城 和志 氏 ・社協生活支援コーディネーター情報交換会 8回 ◇新見市の取組の紹介・視察受け入れ（福井県勝山市・美咲町・赤磐市社協）
--	---

事業名	地区社会福祉協議会の支援	事業区分	自主事業
事業概要	地域における各種団体の横の関係づくりや情報の共有化を図り、住民主体の組織づくりを行うとともに、専門職と連携しながら生活課題に対応できる仕組みづくりを行う。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域福祉推進事業助成金の交付 49地区 4,950,375円 地区社協活動資金の確保（会員会費納入促進） ◇市内50地区に地区担当職員を配置 ◇地区社協等の基盤強化・小地域福祉活動計画（地域運営組織将来計画）策定 <ul style="list-style-type: none"> ・設立地区：布瀬、高瀬、宮河内 ・設立準備地区：西方、石蟹、畑木 ◇地区社協情報交換会の実施 11月29日 9:30～11:30 まなび広場小ホール 40人参加 地域福祉活動について説明 研修「地域での福祉活動の必要性について」 講師 新見公立大学 健康福祉部 地域福祉学科 教授 山本浩史 氏 		

事業名	無理しない地域づくり講座	事業区分	自主事業
事業概要	地域活動の担い手や協力者を増やすために、無理なく楽しく地域づくりに取り組むきっかけとなる講座を行う。		
取組内容	講師 (有)エコカレッジ 代表取締役 尾野寛明氏 第1回：5月27日 受講生8人、聴講者6人 第2回：6月25日 受講生5人、聴講者4人 オンライン相談会：7月4日、7月10日 受講生2人 第3回：7月29日 受講生8人、聴講者6人		

3. 福祉環境の充実を図ろう

事業名	なんでも相談会	事業区分	自主事業
事業概要	地域住民が抱える様々な困りごとを、市内外の法律や福祉等の専門職に無料で相談できる場を提供する。		
取組内容	◇弁護士、司法書士など専門職による相談会を年2回開催 ・9月9日 相談件数25件 ・3月2日 相談件数32件 ◇相談会と併せて、相続に関する研修会を実施 ・9月9日 講師：司法書士 山本康義 氏 参加者 9人 ・3月2日 講師：司法書士 難波宣憲 氏 参加者 25人		

事業名	心配ごと相談	事業区分	自主事業
事業概要	相談所を開設し、日常生活のあらゆる不安や悩みごとの相談に応じる。		
取組内容	◇民生委員による相談 ・毎月第3水曜日 年12回実施 相談4件 ◇よろず相談 ・随時受付 相談405件		

事業名	法律相談	事業区分	市受託事業
事業概要	日常生活での様々な法律に関する困りごとに無料で弁護士に相談できる機会を設ける。		
取組内容	◇弁護士による専門相談 ・毎月第3水曜日 年12回実施 相談71件		

事業名	生活困窮者自立支援事業・家計改善支援事業	事業区分	市受託事業
事業概要	生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び支援を通じて世帯の自立促進を図る。		
取組内容	◇生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談支援 ・新規相談受付件数34件 ・自立相談支援プラン策定者9人、家計相談支援プラン策定者3人 ◇緊急支援事業の実施：18世帯、延べ27件 ◇フードドライブ事業の実施：寄付150件 ◇生活相談支援関係機関実務者連絡会議：2回実施 ◇支えあいの地域づくり研修会 講師：岡山県民生委員児童委員協議会 会長 高山科子 氏 「民生委員・児童委員活動について ～子ども・子育て家庭、社会的孤立状態にある人々への支援を中心に～」 :新見公立大学 地域福祉学科 教授 山本浩史 氏 「孤独、孤立の防止と民生委員活動」 ◇「ぴおーらキッチン（地域食堂・交流事業）」の実施 参加者延べ200人 ・ぴおーら食堂（地域食堂）など、食とふれあいを通じたつながりと居場所づくり		

	<ul style="list-style-type: none"> ・びおーら BOX 配布：準要保護世帯で希望があった 32 世帯に向けて食料品等を配布 ◇新見公立大学生への食料品配布（2 回実施）延べ 400 人 ◇家計改善に関する職員研修
--	--

事業名	法人後見・権利擁護推進事業	事業区分	市受託事業
事業概要	判断能力が低下した方への法的な支援を行う法人後見事業と権利擁護の地域連携ネットワークの中核を担う機関として幅広い相談支援を行う。		
取組内容	<p>◇中核機関の運營業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政関係部署との協議 5 回 ・権利擁護委員会 12 回 ・権利擁護協議会 1 回 <p>① 広報に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの配布 地区民生委員会、福祉連絡会等、社協だよりでの広報 <p>② 相談に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 38 件 延べ対応回数 84 回 <p>③ 制度利用促進（受任者マッチング）に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護委員会での受任者調整 合計 8 件 <p>④ 後見人支援（市民後見人を含めた後見人の育成及び支援）に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 月 18 日 市民後見人フォローアップ研修の開催 参加者 6 名 場所：新見市地域福祉センター 多目的ルーム 基調講演：「市民後見人の相続に関するいろは」 ゆずりは新見法律事務所大山知康弁護士 活動発表：「市民後見人になって感じたこと」 新見市市民後見人 村上公江 氏 情報交換 ・市民後見人養成講座への受講案内 3 人受講 <p>◇法人後見・権利擁護推進事業の体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人等の受任状況 24 件受任中（新規 4 件（内、社協単独後見 2 件）、終了 3 件） ・5 月 23 日 内部監査の実施 ・5 月 9 日 法人後見運営委員会の実施 ・法人後見支援員として 2 人活動中（被後見人 4 人） <p>◇成年後見制度及び権利擁護の利用促進、普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 月 21 日 にいみ権利擁護セミナーの開催 参加者 63 人 場所：まなび広場にいみ 小ホール 基調講演：「成年後見制度の概要と実際、市民後見人との連携」 かとう社会福祉士事務所 社会福祉士 加藤貴之 氏 活動発表：「市民後見人の活動と意義」 新見市市民後見人 福澤一義 氏 アンケートを実施 ・7 月 23 日（ワークセンターあしん）出前講座 参加者 10 人 ・2 月 13 日（上市地区社協 認知症に関する勉強会）出前講座 参加者 47 人 ・法人後見等移行支援事業の実施 該当ケース 1 件 		

事業名	日常生活自立支援事業	事業区分	県社協受託事業
事業概要	認知症高齢者、障がい者など判断能力の不十分な人を対象として、福祉サービスの利用援助や金銭管理を行うことで安心した生活が送れるように支援を行う。		
取組内容	<p>◇判断能力が不十分な方の書類手続及び金銭管理支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 27 人（認知症高齢者 3 人、知的障がい者 14 人、精神障がい者 9 人、その他 1 人） ・生活支援員 12 人 <p>◇生活支援員の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 月 12 日 生活支援員研修会 参加者 15 人（生活支援員 9 人、職員 6 人） 内容「新見市における本事業の現状について」 「日常生活自立支援事業を支える生活支援員について」 講師 岡山県社会福祉協議会 福祉支援部 生活支援班 加藤友梨 氏 		

事業名	生活福祉資金貸付事業	事業区分	県社協受託事業
事業概要	低所得者や高齢者、障がい者世帯などに資金を貸し付け、経済的支援及び相談援助により自立を図る。		
取組内容	◇低所得・障がい者世帯等への資金貸付により、世帯の自立を図る ・相談件数 26 件 （内訳）福祉費 7 件、緊急小口資金 12 件、不動産担保型生活資金 2 件、その他 5 件 ・貸付申請件数 1 件（緊急小口資金） ◇新型コロナ特例貸付「市町村社協相談支援体制強化推進事業」における相談支援業務 ・架電、郵送、訪問によるアウトリーチ件数 247 件 ・窓口対応件数 127 件 ・特例貸付借受人 94 世帯の状況確認シート等による状況把握及び支援の必要度によるスクリーニングの実施		

事業名	家族介護者のつどい・くつろぎの家	事業区分	自主事業
事業概要	在宅介護者同士の交流や心身のリフレッシュの機会を設け在宅福祉の推進を図るとともに、介護者が参加しやすいよう要介護者の一時預かり（くつろぎの家）を行う。		
取組内容	第 1 回 6 月 17 日 介護者のつどい 6 人 くつろぎの家 3 人 「笑って生涯エクササイズウォーキング～正しい姿勢～」社会福祉協議会 安達陽子 氏 「夏を彩る～自分だけの紙漉うちわを作ろう！～」 紙の館 第 2 回 10 月 28 日 介護者のつどい 6 人 くつろぎの家 3 人 「みんなで踊ろう！安来節」安来節保存会米子中支部 山本美代子 氏 西村邦雄 氏 秋を描こう「パステルアート」社会福祉協議会 安達陽子 氏 第 3 回 2 月 17 日 介護者のつどい 9 人 くつろぎの家 5 人 「笑いヨガ」社会福祉協議会 安達陽子 氏 「“新見産ひのき”で『マイ箸』を作ろう」木の葉 art		

事業名	ピオーラカフェ	事業区分	市受託事業
事業概要	認知症やその家族、地域の方が気軽に参加でき、交流や専門職への相談ができる場をつくることで、認知症への理解を促進する。		
取組内容	第 11 回 5 月 25 日 参加者 16 人 「触ればわかる簡単タブレット」地域包括支援センター認知症地域支援員 川上申子 氏 第 12 回 7 月 26 日 参加者 13 人 「ピオーラカフェ夏祭り」レクレーション、盆踊り 第 13 回 9 月 27 日 参加者 18 人 「訪問歯科検診～認知症と口腔ケア～」宮地歯科 院長 宮地恭祐 氏 第 14 回 11 月 22 日 参加者 16 人 「記憶と新見の山の香り」アロマ薬剤師 白石須万子 氏 第 15 回 1 月 24 日 参加者 23 人 「認知症に関する DVD 鑑賞会」「新春 お茶会」裏千家新見同好会・和楽会 第 16 回 3 月 27 日 参加者 22 人 「さわやかな音色で春を感じよう」フルート坂部由香子 ピアノ窪田晶子 氏 毎回、大学生ボランティアによる大学生企画コーナーを実施		

事業名	障害者移動支援	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	車いす使用者等、福祉車両での移動が必要な方及びその家族に対し、福祉車両の貸出を行う。また、ボランティア活動者に対して 10 人乗りワゴン車等の貸出を行う。		
取組内容	◇障害者移動支援事業（受託事業） ・障がいや傷病により、福祉車両が必要な方への貸出 53 回		

◇ボランティア等車両貸出（自主事業） ・地区社協等が行う買い物ツアー等、地域活動者等への車両貸出 53 回
--

事業名	地域における公益的取組の促進	事業区分	自主事業
事業概要	日常生活または社会生活上の支援を必要とする人に対し、ニーズに応じて、無料または低額な料金で福祉サービス等を提供する。また、その目的達成のため、市内の社会福祉法人が連携して、制度の狭間の課題などに連携して取り組む。		
取組内容	<p>新見市社会福祉法人連絡協議会（10 社会福祉法人 11 事業所で組織）</p> <p>◇総会 6月2日 10 法人 11 人、事務局 3 人出席</p> <p>◇事業推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援会議 6月30日 9 人出席（事務局含む 以下同じ） ・生活困窮者支援会議 7月10日 8 人出席 ・法人運営会議 7月31日 12 人出席 ・災害支援・法人運営合同会議 9月29日 18 人出席 <p>◇取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時連絡体制に伴う図上訓練 9月1日 24 人参加（LINE オープンチャット） ・フードドライブ活動（社協共催）11 月を強化月間とし各法人で食品を募集 513 点 ・びおーらキッチン（社協共催）12 月 9 日 6 人参加 ・研修会開催 2月15日 50 人参加 講師：川崎医療福祉大学 講師 小川知晶 氏 テーマ：地域や施設で暮らす方々の権利擁護 ・法人連協だより配布 にいみ社協だより 3 月号と併せて市内全世帯に配布 		

介護保険事業

【 居宅介護支援事業 】

	延べ認定調査	延べ居宅サービス計画	延べ介護予防居宅サービス計画
中央	56 件	1, 572 件	85 件
神郷	37 件	1, 082 件	87 件
計	93 件	2, 654 件	172 件

【下記目標数値は、令和 5 年度事業計画に掲載したもの。各事業同】

	目標支援件数(件/月)	実績(件/月)	達成率 (%)
中央	133.0	131.0	98.4
神郷	90.0	90.1	100.1

【 訪問介護事業 】

	訪問介護		総合事業訪問介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	55.0 人	4, 484 回	51.5 人	2, 696 回

	目標時間数(時間/日)	実績(時間/日)	達成率 (%)
中央	34.0	29.3	86.2

※令和 5 年 4 月に神郷ヘルプセンターを廃止し中央ヘルプセンターに統合。

【 通所介護事業 】

	通 所 介 護		総合事業通所介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	50.5 人	4,862 回	29.5 人	1,551 回
神 郷	34.2 人	3,133 回	15.0 人	702 回
計	84.7 人	7,995 回	44.5 人	2,253 回

	目標利用者数(人/日)	実績(人/日)	達成率 (%)
中 央	28.0	26.4	94.2
神 郷	21.0	15.8	75.2

【 訪問入浴介護事業 】

	訪 問 入 浴 介 護		介護予防訪問入浴介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	5.7 人	285 回	0 人	0 回

	目標利用者数(人/日)	実績(件/月)	達成率 (%)
中 央	3.0	1.9	63.3

障害福祉サービス事業

【 居宅介護事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	6.9 人	381 回

※令和5年4月に神郷ヘルプセンターを廃止し中央ヘルプセンターに統合。

【 障害者デイサービス事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	1.0 人	49 回

【 移動支援事業（個別支援） 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	0 人	0 回

【 障害者訪問入浴サービス 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	1.0 人	46 回

在宅福祉事業

【 障害児入浴サービス事業 】

○18歳未満の身体障がい児の入浴サービス

施 設 名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	0 人	0 回

【 新見市産後ヘルパー訪問事業 】（受託事業）

○産後の体調不良により家事が困難な家庭等に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	3 人	19 回

【 子育て支援ヘルパー訪問事業 】（受託事業）

○児童の養育が困難で子育て支援が必要な家庭に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	1 人	31 回

団体活動支援

○各種機関との連絡調整、事業実施における支援を行い、団体の自立を推進した。

◇新見市老人クラブ連合会
◇新見市遺族連合会
◇新見市身体障害者福祉協会
◇新見市福祉ボランティアの会・神郷地域ボランティア協議会・哲西町ボランティア協議会

ボランティア保険加入促進

種類	加入数	備考
活動保険	141件 3, 234人	加入年度に適用される保険
行商用保険	121件 8, 463人	1行事のみに適用される保険

※上記のほか送迎サービス補償、福祉サービス総合補償などでボランティア活動を推進

人材育成活動

○大学・高等学校、一般の社会福祉士、介護支援専門員、看護師等の実習生を受け入れ、同行訪問等現場実習の指導を実施。

- ・新見公立大学 地域福祉学科4年生 コミュニティ・ソーシャルワーク実習2人受入
前期6月14日～6月30日、後期7月9日～7月31日（全24日間）
- ・新見公立大学 地域福祉学科 介護実習2人受入（各5日間）
中央ヘルプセンター 6月19日～6月23日
- ・新見公立大学 看護学科 在宅看護実習38人受入
中央ケアセンター 4月12日～7月19日（16人）、10月5日～12月13日（9人）
神郷ケアセンター 4月12日～8月19日（6人）、10月4日～12月11日（7人）
- ・岡山県介護支援専門員実務研修見学実習 2人受入（3日間）
中央ケアセンター 3月11日、14日、19日
神郷ケアセンター 3月11日、15日、22日